

平成19年度 学習支援計画書

科目名			クラス
心理学			5年全
必修・選択	単位数	開講学期	担当教員
選択	2	前・後	長谷川明弘
科目概要			
<p>心理学は、心を科学的に探求する学問である。本科目の目的は、心理学を通じて人間行動の法則性を学び、人間観を科学的な観点から養うことにある。心理学は、教育、サービス業、製造業など種々の分野に応用されている。将来、社会に貢献すべき本学学生にとって、心理学を通して人間行動を理解することの意義は大きい。また受講する学生の大多数が青年期に相当している。本科目が、青年期の発達課題といわれる「自我同一性(ego identity)」に向き合う一助となり、自己理解を促す機会となれば幸いである</p>			
教科書		参考書（LCの図書等を含む）	
①「ガイドライン 自分でできる心理学」宮沢秀次・二宮克美・大野木裕明編，2004，ナカニシヤ出版		より理解を深めたい受講生のための文献を授業中に紹介する。また適宜、配布資料を用意する。	
授業方法			
<p>原則として教科書に基づいて講義形式で授業を進行していく。講義では、それぞれのセクション（心理学の歴史および方法、感覚・知覚心理学、認知心理学、学習・行動心理学、発達心理学、性格心理学、臨床心理学、社会心理学）についての基礎概念や基礎用語の説明が行われる。授業には、予習をして臨むこと。講義ではそれぞれの心理学領域の視点から、人間の行動がどのように理解されるかを概説する。そして、講義内容についての知識や理解を確認するために各学期につき1回の定期試験だけでなく中間試験・課題を課し、理解の度合いを確認する。</p>			
評価方法			
評価項目	%	<p>各学期の途中で中間試験あるいは課題を課して、理解度の確認を行う（40%）。各学期末の定期試験では、講義全体を通して習得した心理学の基本概念、基礎用語、人間理解の方法についての知識と理解を問う（40%）。学習態度・出席状況は、講義中のグループ討議や発表などへの積極的な関わり、出欠状況確認のための一言カードへの記載内容などで評価する（20%）。最終的な成績は、各評価項目を加味して総合的に評価する。</p>	
定期試験	40		
中間試験 課題	40		
学習態度 出席状況	20		
合計	100		
到達目標または行動目標			
<p>①心理学の各領域における基礎概念および基礎用語を文章で説明したり、択一式の設問に正しく回答できる。 ②自他の行動を把握するために、心理学の視点から人間行動を理解し、その理解を文章で説明したり、択一式の設問に正しく回答できる。</p>			

授業明細 (1/2)

授業明細 (1/2)

週	項目	内容	予習・復習・宿題・その他	備考
1	心理学とは1	1. 心理学の始まり / 2. 現代心理学の広がり	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
2	心理学とは2	3. 心理学の研究法	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
3	行動の基礎	1. 神経生理学的な基礎 / 2. 脳・神経系の基本的なしくみ	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
4	感覚・知覚のしくみ	1. 感覚と知覚 / 2. 刺激 / 3. 順応 / 4. 知覚の体制化 / 5. まとまりの法則 / 6. 恒常性	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
5	知覚の諸相	1. 錯視 / 2. 空間の知覚 / 3. 運動の知覚 / 4. 知覚に影響する諸要因	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
6	中間試験	第1週から第5週までの内容の理解度を確認する	試験対策をすること	
7	新しく学ぶ1	1. 動物としての人間 / 2. レスポンデント条件づけ (古典的条件づけ)	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
8	新しく学ぶ2	3. オペラント条件づけ (道具的条件づけ) / 4. 観察学習 / 5. 現実の学習方法	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
9	覚えるしくみ	1. 記憶のしくみ / 2. 記憶のシステム / 3. ワーキングメモリ —最近の動向から—	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
10	日常的な記憶	1. 忘却 / 2. 記憶のゆがみ / 3. 日常生活にあらわれる記憶の特徴	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
11	やる気と行動	1. 欲求とやる気 / 2. 社会的な動機 / 3. 欲求どうしの関係 / 4. 動機づけの認知過程	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
12	迷うところ	1. コンフリクト / 2. フラストレーション / 3. 防御機制 / 4. ストレス	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
13	まとめ	第1週から第12週の総括ならびに疑問に答える	(予習) これまでの復習 (復習) 講義を見直す	
14	喜怒哀楽	1. 感情発生のメカニズム / 2. 感情の誘発因 / 3. 感情の分類 / 4. 感情の表出	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	

15	個性があらわれる	1. パーソナリティとは / 2. パーソナリティの記述 / 3. パーソナリティの一貫性	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
授業明細 (2/2)				
週	項目	内容	予習・復習・宿題・その他	備考
16	パーソナリティを調べる	1. パーソナリティを調べる方法 / 2. 質問紙法 / 3. 投影法 / 4. 作業検査法	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
17	精神的健康 1	1. 精神的健康 (メンタルヘルス) / 2. パーソナリティの正常と異常の基準 / 3. 人格障害	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
18	精神的健康 2	4. 神経症 / 5. 躁うつ病 (気分障害) / 6. 統合失調症 / 7. 情緒障害	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
19	自分を知る	1. 自分とは何か / 2. 自分をみる / 3. 自分の知らない自分	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
20	知の働き	1. 心理学からみた知能 / 2. 個人の知的な問題解決の過程	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
21	中間試験	第14週から第20週までの内容の理解度を確認する	(試験対策を取る)	
22	育つ道筋 1	1. 発達 / 2. 幼児の発達における特徴 / 3. 発達段階と発達課題	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
23	育つ道筋 2	4. 遺伝-環境論争 / 5. 発達に及ぼす影響の方向性	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
24	思考・ことばの発達	1. 思考の発達 / 2. 思考の発達段階 / 3. ことばの働き / 4. ことばの発達過程	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
25	社会性の発達	1. 親子関係 / 2. 仲間・友人関係 / 3. 社会的スキル	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
26	思いやるこころ	1. 思いやりとは / 2. 「思いやり」行動 / 3. 「思いやり」行動についての判断の発達	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
27	自我の発達	1. エリクソンの理論 / 2. 青年期のアイデンティティ / 3. 青年期以降のアイデンティティ	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
28	人を知る	1. 対人認知とは / 2. 対人認知の手がかり / 3. 印象形成 / 4. 暗黙裡のパーソナリティ理論 / 5. 対人関係の認知	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	
29	役割を担う	1. 社会的役割 / 2. 社会的役割の獲得メカニズム / 3. リーダーの特性 / 4. リーダーシップ / 5. 性役割 / 6. 家庭での役割	(予習) 講義の内容 (復習) 講義を見直す	

30	まとめ	第14週から第29週の総括ならびに疑問に答える。 また年間を通じての講義内容の総括を行う。	(予習) これまでの復習 (復習) 講義を見直す	
----	-----	--	-----------------------------	--

資格試験との関連	
なし	
受講上の注意	
<p>①初めて学習する科目であるので、自学自習に大きく時間を割く必要がある。予習では、教科書を精読し、疑問点を明確にしておくこと。復習では、講義の内容を見直すこと。</p> <p>②授業の展開によっては、予定していた内容を消化できない場合が生ずることを予め断っておく。例えば、予習復習をした受講生から積極的に質問が出てきた場合、受講生全体に重要と判断できる質問内容ならば、時間を割いて説明をする場合が出てくることがある。予定していた内容が消化できなかった場合は、受講生から希望を聴取し講義内容を変動して対処する。</p>	
教員の居場所・オフィスアワー	教員からのコメント
	心は誰もが持っているものです。身近な事柄として、自分に照らし合わせながら興味を持って講義に臨んでもらえたら嬉しい。なお私が慣れないうちは、人見知りをします。最初は取っつきにくく感じるかもしれません。悪しからず。興味を持ったことがあれば、声をかけてください。すると慣れてゆきます。